

パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略に対するコージェネ財団からの提出意見とその結果について

章	節	部門	施策	原文に対するACEJ提出意見（赤字:追記要望）	パブコメ後の表記（青字:コージェネに関する追記等）		
各部門の長期的なビジョンとそれに向けた施策の方向性	排出削減対策・施策	エネルギー	省エネルギー/分散型エネルギーシステム	普及が進んでいる再生可能エネルギーや <b>コージェネレーション</b> 、蓄電池等の分散型エネルギーリソースと、パワーエレクトロニクス技術等による高度なエネルギーマネジメント技術を組み合わせた分散型エネルギーシステム(IoE)の構築は、熱の効率的利用を始めとする省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの拡大に加え、エネルギー供給構造の効率化、エネルギーシステムの強靱化に貢献する取組として重要となる。	普及が進んでいる再生可能エネルギーや <b>コージェネレーション</b> 、蓄電池等の分散型エネルギーリソースと、パワーエレクトロニクス技術等による高度なエネルギーマネジメント技術を組み合わせた分散型エネルギーシステム(IoE)の構築は、熱の効率的利用を始めとする省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの拡大に加え、エネルギー供給構造の効率化、エネルギーシステムの強靱化に貢献する取組として重要となる。		
			省エネルギー	産業部門においては、技術革新による電化・水素化等を進めるとともに、その難易度の高い分野を中心に、未利用熱の撤退的な活用を含めたエネルギー効率の向上 <b>およびコージェネレーションによる熱の効率的利用</b> を進める。	・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし		
		地域・暮らし	カーボンニュートラルな農山漁村づくり	荒廃農耕地対策に加えて以下の文追加 <b>森林の間伐材伐採を通じて、林地の維持を図るとともに、バイオマスを利用した熱供給や熱電併給を通じて林業の収入を確保し、地域の活性化を図る。</b>	・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし		
				荒廃農耕地対策に加えて以下の文追加 <b>家畜排泄物の発酵によるバイオガス発電や糞尿処理、並びに副産物の液肥、堆肥利用、排熱による温室栽培等を推進し、畜産業の発展を図る。</b>	・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし		
			カーボンニュートラルな暮らしへの転換(住宅・建築物での取組)	太陽光発電は発電が可能な時間帯が集中することを考慮し、電動車、ヒートポンプ式給湯器、 <b>燃料電池</b> 等の普及とともに、住宅・ビルのエネルギー管理システムやICTを用い、これらが、太陽光発電の発電量にあわせて需給調整に活用されることが一般的となることを目指す。	太陽光発電は発電が可能な時間帯が集中することを考慮し、電動車、ヒートポンプ式給湯器、 <b>燃料電池、コージェネレーション</b> 等の普及とともに、住宅・ビルのエネルギー管理システムやICTを用い、これらが、太陽光発電の発電量にあわせて需給調整に活用されることが一般的となることを目指す。		
			カーボンニュートラルな地域づくり(地域における自立・分散型社会づくりのための横断的取組)	災害時にも地域の再生可能エネルギーや <b>コージェネレーション</b> 等の自立的な電源の活用を可能にするよう、デジタル技術、蓄電池等を活用した地域のエネルギー供給網のモデル構築に向けた取組を進める。	災害時にも地域の再生可能エネルギー等の自立的な電源の活用を可能にするよう、デジタル技術、蓄電池、 <b>燃料電池、コージェネレーション</b> 等を活用した地域のエネルギー供給網のモデル構築に向けた取組を進める。		
			カーボンニュートラルな地域づくり(地域における自立・分散型社会づくりのための横断的取組)	蓄熱式空調設備、給湯需要の大きい施設におけるヒートポンプ式給湯器、 <b>燃料電池及びコージェネレーション</b> 、冷凍冷蔵倉庫、上下水道施設、大型建築物が有している非常用自家発電機等が需給調整に貢献する可能性を追求する。	蓄熱式空調設備、給湯需要の大きい施設におけるヒートポンプ式給湯器、 <b>コージェネレーション</b> 、冷凍冷蔵倉庫、上下水道施設、大型建築物が有している非常用自家発電機等が需給調整に貢献する可能性を追求する。		
			カーボンニュートラルな地域づくり(都市部地域のカーボンニュートラルなまちづくり)	都市においては、人口減少・少子高齢化、インフラの老朽化、 <b>強靱化</b> 等の課題に対処するために、交通等のインフラを含むまちづくりを見直す必要性が高まっている。 都市のコンパクト化により熱源や熱の需要が適切に集約される場合には、未利用の再生可能エネルギー熱 <b>および都市排熱、コージェネ排熱</b> の利用可能性が高まる。	・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし ・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし		
		重点的に取組む横断的施策	イノベーションの推進	技術のイノベーション	個別分野における実用化に向けた課題の見える化(再生可能エネルギー)	需要側の調整力のポテンシャルの追求として、上げDRに対応できる産業・生産工程・ポテンシャルの精査、定置用蓄電池・ <b>分散型発電設備</b> 等制御性の高い分散型エネルギーリソースの低コスト化の他、電力を蓄え活用する手段として水素や熱のマネジメントも重要となってくる。	・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし
					分散デジタル技術 周波数制御・慣性力対策、火力発電(水素発電・ <b>分散発電</b> [ <b>燃料電池、コージェネレーション</b> ])の出力調整、AI・IoT・ <b>IoE</b> 、ブロックチェーン(以下省略)	・意見の概要に記載なし ・原文からの変更なし	

●今後について

今回、省エネルギー、カーボンニュートラルな農山漁村づくり、カーボンニュートラルな地域づくり、技術のイノベーション(個別分野の実用化に向けた課題の見える化)に関する提出意見については、本戦略に反映されませんでした。コージェネ財団としては、これからもコージェネの意義を発信し、国の政策等への反映を目指していきます。